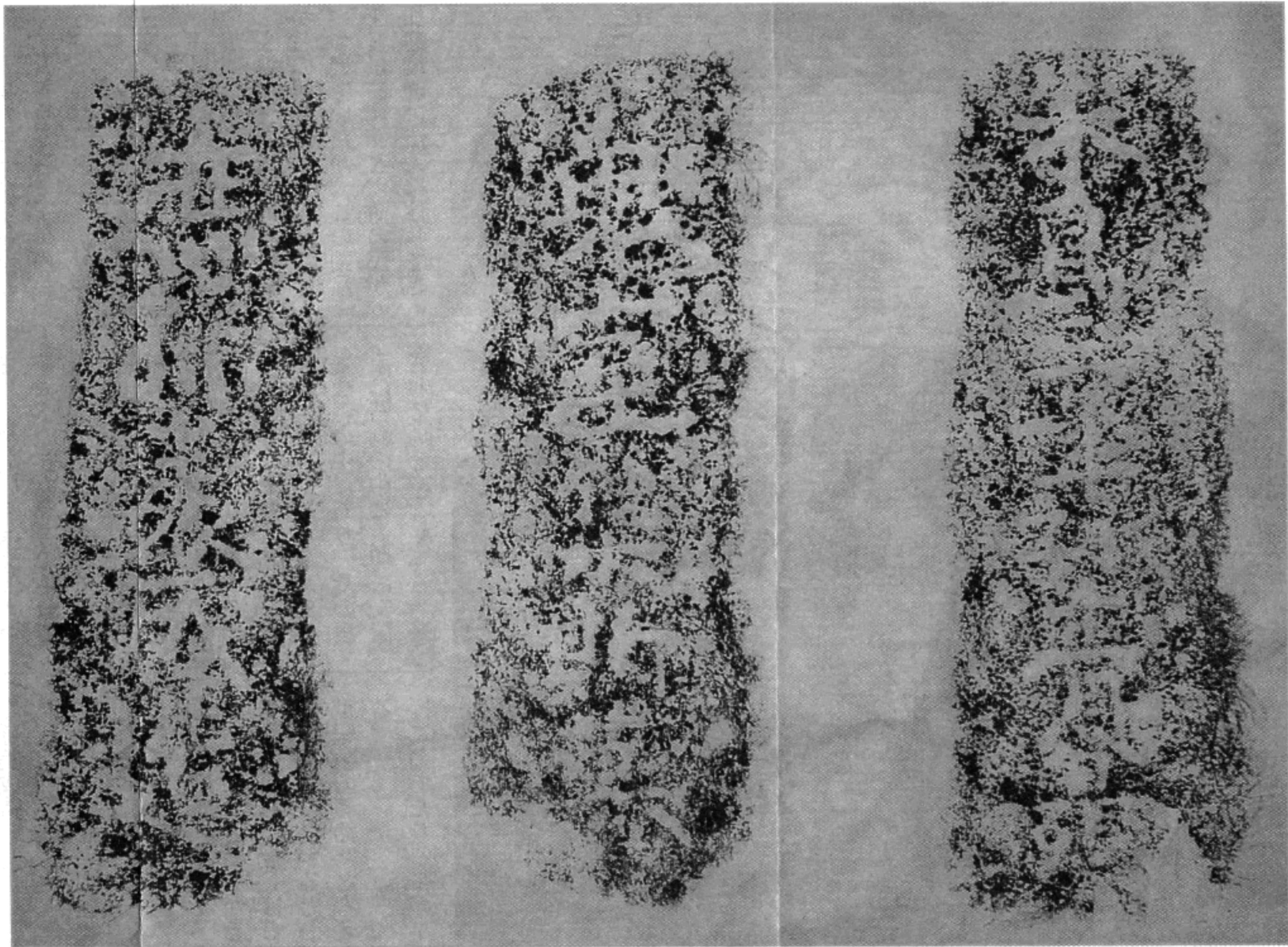


## 第7号

## 蒲田風箋

昂  
く  
す  
ば  
る

發行所  
株式会社久  
東京都大田区蒲田1-8-12  
電話 03(5703)7575  
発行人 小原秀之  
印刷所 宮田印刷



鬼室集斯の墓碑の拓本。銘文は、「鬼室集斯墓(中央)」「朱鳥三年戊子十一月八日歿(右)」「庶孫美成造(左)」。鬼室集斯の没年は「朱鳥三年」、すなわち持統二年(六八八)に没し、孫の美成という人物が造ったことがわかる。墓碑は八角形の円筒形の石柱で、その三面に文字が彫られている。

京都や奈良へ観光に行く人は多いが、滋賀県へ観光にわざわざ出掛ける人は、よほど物好きか歴史好きの人だろう。

琵琶湖の存在は知つても観光スポットとなると、大津の石山寺ぐらいか国宝の彦根城ぐらいが、せいぜい関東人の思い浮かぶところではないだろうか。滋賀県はおつとりとした風土で、観光キャンペーンをするわけでもなく、昔ながらの静かな佇まいの寺々や史跡が観光客の喧騒にさらされることはなくその姿をとどめている。滋賀こそが観光の穴場なのだ。

滋賀の歴史は京都よりも古く、近江すなわち淡海(あだら)や新羅(しらぎ)から渡來した人々によって文化の華が早くから開いていた。

その文化とは、仏教や漢字を核として、金属を加工する技術、その千二百度の高温焼成技術で焼く須恵器の硬い焼き物と瓦を造る技



広い田園の中の小さな森に鎮座している鬼室神社。今では父、福信の地から訪れる韓国人も多い。

平安時代の初めに天台宗を開いた伝教大師最澄も実は朝鮮渡来の血を引く人物で、飛鳥時代から有能な学者や外交官を数多く輩出して大和朝廷を土台から支えていたのだった。

六〇三年の遣隋使で有名な小野妹子もこの地の出身であり、六五三年に遣唐大使となつた吉士長丹(きしながに)も東近江の人で

た高級な絹織物の技術、後世の織田信長が安土城天守閣を造営するのに用いた石垣を組む土木技術、その他にも医学や法制度、儒教の最新知識と学問など当時のハイテク技術で、今日の日本文化の原型を形づくったもう一つの「飛鳥(あすか)」文化がここにあった。

「吉士」とは古代朝鮮において首長を意味する語で、「村主(すぐり)」、「勝(すぐり)」も同じ意味である。激動の七世紀は東アジアの動乱期で、朝鮮半島は北勢力の新羅、西には高度な文化を誇り、日本と血縁關係ともいえる百濟の三国があつた。

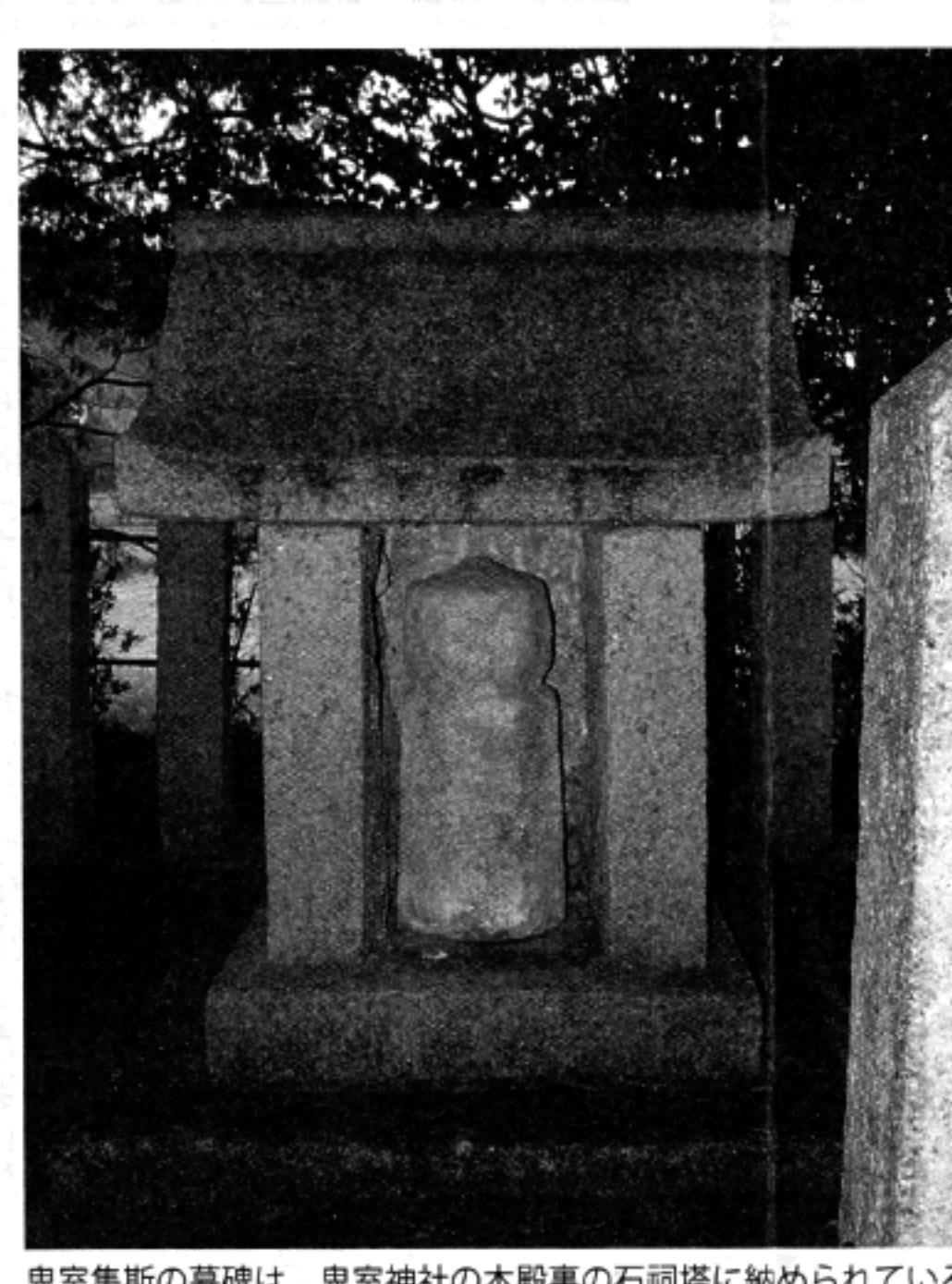
勢力を競い、日本を割拠して霸を立てたのが、百濟の王族の血を引く鬼室集斯(きしつしゅうし)が四百名ほどで日本に亡命し、近江神崎郡に移住する。

663年 百濟の王族の血を引く鬼室集斯(きしつしゅうし)が四百名ほどで日本に亡命し、近江神崎郡に移住する。

665年 唐と新羅の日本攻撃を恐れて都を飛鳥から近江大津宮に遷す。この頃

あり、近江八幡市のお公礼(くられ)八幡宮はこの人物を祀っている。長丹は農業技術や最新の織物技術、宝物などを持ち帰り、朝廷から「呉(くれ)」の姓を授与されている。

「吉士」は古代朝鮮において首長を意味する語で、「村主(すぐり)」、「勝(すぐり)」も同じ意味である。激動の七世紀は東アジアの動乱期で、朝鮮半島は北



鬼室集斯の墓碑は、鬼室神社の本殿裏の石祠塔に納められている。

# 知られざる飛鳥、白鳳文化の華(滋賀県)

## 古代朝鮮渡来文化の舞台

癖など、今や大量の団塊世代の定年退職を迎え趣味なき男性は精神的な支えもなく、やりたいことも見つけられず、仕事だけが人生だったという寂しい老後を余儀なくされている。人間は体力、気力の衰えは避けられないが、年齢とともに唯一向上できるのは感力、つまり若いときにはわからなかつた事物に感動できる感性である。それは好奇心が原動力なのだ。

2



20分の1のスケールで再現された幻の名城「安土城」。織田信長の命によって建築された、日本で最初に天守閣を備えた城である。吹き抜け構造で内部にもふんだんに金箔で装飾されていた

彼らの祖先は百濟系ともいわれ、その穴太の地からは朝鮮半島特有のオンドルという床暖房の遺構も検出されている。

安土城は天正四年（一五七六）に石垣工事が始まり、天正十年（一五八二）に本能寺の変によつて倒れると同時に天守閣などが焼失。信長の夢とともに潰えたのだつた。

穴太衆は、戦国時代に次々と誕生した巨大な城郭建築に引つ張りだことなりその名を天下に知られるこ<sup>ト</sup>となつた。

尾張の信長は隣国美濃を攻め落とし、北近江の浅井氏、越前の朝倉氏を滅ぼし、天下統一の一大拠点として安土山に壯麗な五層七重の金箔瓦を載せた巨大な高層建築を築造したのだつた。その土台を支えたのは朝鮮渡来の石組みの特殊技術を持つ近江の穴太（あのう）衆であつた。

た安土城があつた土地である。

# 日本語になつた「イント」

この名前については、  
のような逸話がありま  
お釈迦さまの弟子の周利  
槃特（しゅりはんとく）  
は熱心に修行をする人  
好い人物でしたが、物  
れがひどく自分の名前  
らすぐに忘れてしまつ  
そうです。毎日毎日庭  
掃除をするのですが、

食べても同じですが。うしてその様に言われるのでしようか。

るよ」と言われます。

まいます。あまりにも  
ればかりを食べている  
友人に「あまり茗荷を

すか、最近大好きになりました。刺身をたん  
んで茗荷が載つてい

その中に茗荷（みょうが）があります。

じります 天婦羅より  
酢の物が食べたくなつ  
り、肉より魚のほうが  
よつとつしてきま。

最近、年齢を取つて  
ると若い時に食べられ  
かつたものが美味しい

日本語にな  
茗荷

茗荷は冥加（知らないうちに受ける神仏の加持護）と同じ発音です。冥加を受けたことに対する謝礼として寺院や神社に奉納された金銭や物資のことも「冥加」と称します。茗荷と冥加、どちらも仏教に関係することは偶然でしょうか。

名を荷物のように荷負つていた事にちなんで、村人がこの草を「茗荷」と名付けた、という説があります。

この話から、茗荷を食べる物忘れがひどくなるという俗説が生まれました。

けるのは、十大弟子の名前ですから失礼な事です

子になりました。

しました。毎日掃除をきれいにしていたので、それだけで悟りを啓(ひら)

てそれを読みなさい」と  
言われ、いつも自分の名  
前を書いた札を荷負つて

そこでお辭退さるに相  
談したら、「人から名前  
を聞かれたら、名前を書  
いた札を貰こ苛負つてい

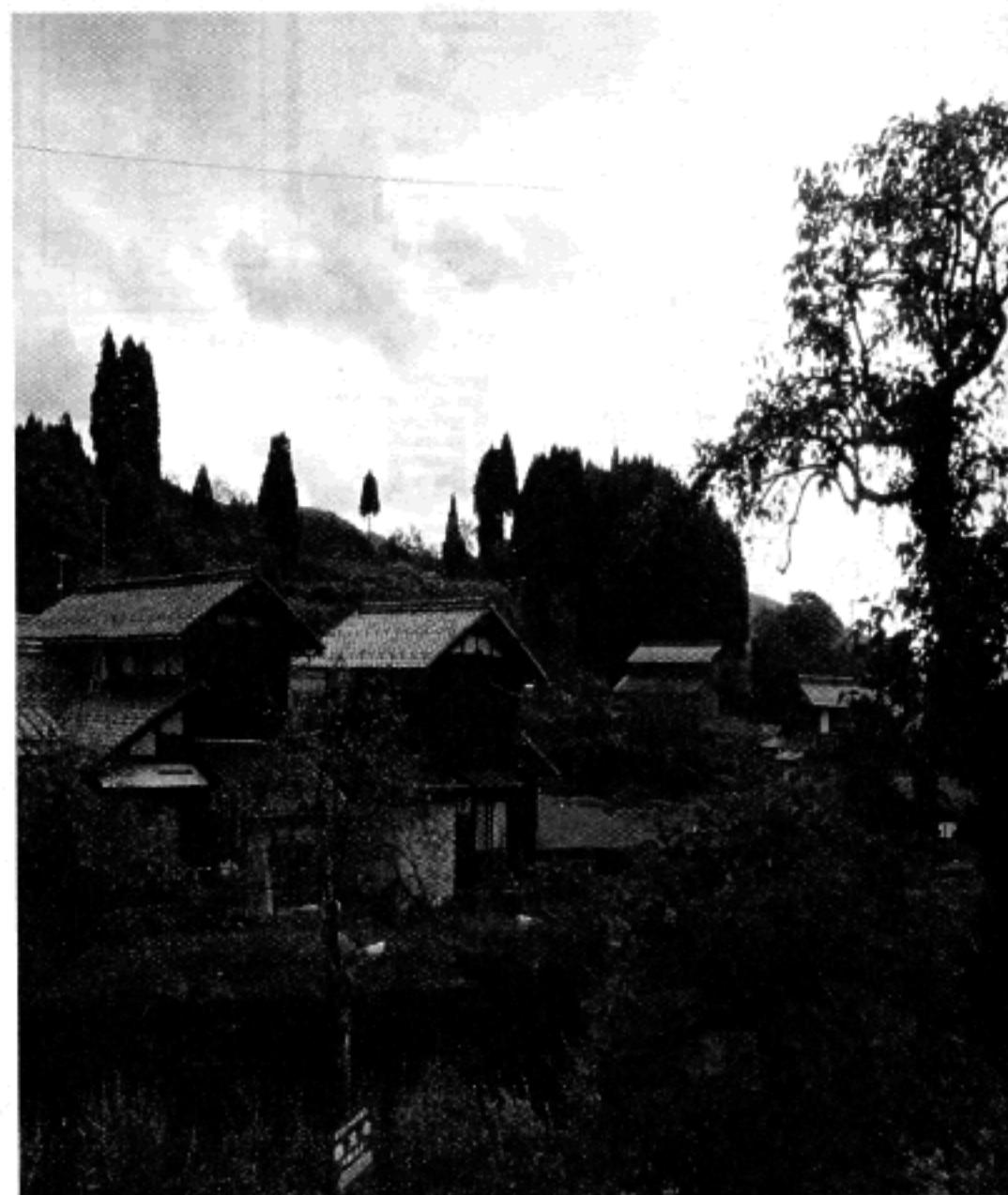
き交う人に「あなたの名前は？」と聞かれても自分の名前が言えない。

うた「インド」



多くの亡命民の中には高麗、東に新羅、西に百濟の三国が拮抗していたが、新羅が台頭してそれが崩れ、はじめて百濟が滅亡に追い込まれた。古代朝鮮半島は北に高句麗、東に新羅、西に百濟の三国が、七世紀は東アジアの激動の時代だった。

貴な人々もおり、鬼室集斯もその一人だった。一族郎党約四百人が船に乗つて日本に渡ってきたのだつた。



静かな山里の寺々には今も観音菩薩像が安置されている

滅びた栄光の百濟国を遠く思い望み、遙かなる海を越えて近江（淡海・あふみ）へと移住してきた百濟の王族の血を引く鬼室集斯（きしゅうし）の一族。『新撰姓氏録』に「鬼神感和」とあるように父、福信の百濟再興の奮闘ぶりに対して「鬼室」姓が与えられた。

**【大意】**  
琵琶湖の北東部の湖岸一帯は、十一面觀音のふる里といえるほどに、奈良時代

**【大意】**  
この辺り一帯の里には多くの寺々、そして多くの觀世音菩薩像が刻まれ安置されていました。

**【大意】**  
もともとこの地は百濟系といわれる秦氏の渡来地の一つで古代の製鉄遺跡をはじめ、延喜式に記載されている古社などが点在し、平安時代には天台宗の延暦寺の勢力下として広大な地域に多数の伽藍堂塔が形成された。北国街道の喉元にあった交通の要衝でもあり、背景には古代からの白山信仰とも関連があるよう

望郷百濟  
波濤千里  
淡海渡來  
鬼神感和

（鬼室集斯参拝頌）

比叡遠望  
波光淡海  
慈愛微笑  
觀音故里

（近江高月鶴足寺頌）

から平安時代にかけて秀麗な仏像が数多く残されています。堂塔伽藍は焼き払われながらも、これほどまでに残りえたのは、里人の篤い信仰心のたまものといえる。

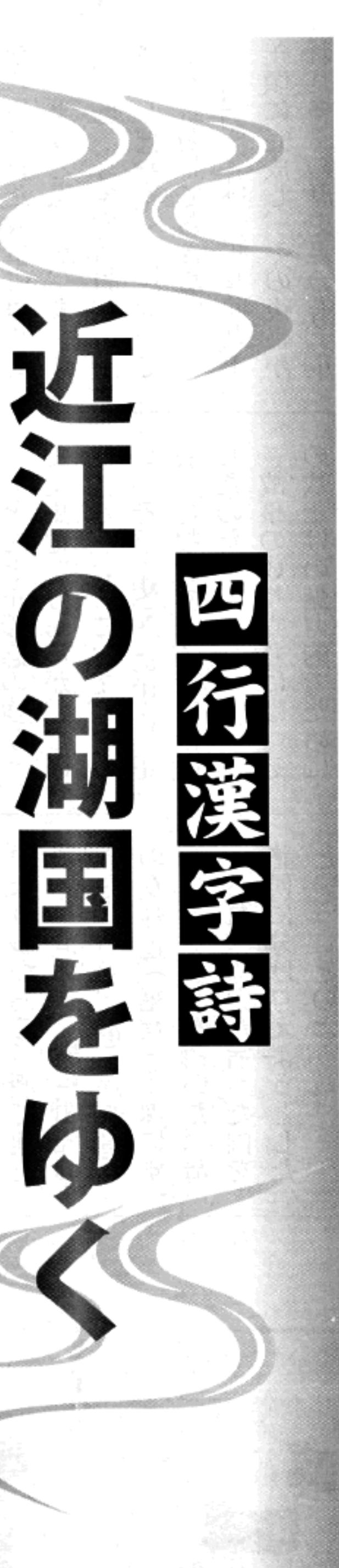
幾多の戦乱を乗り越え、堂塔伽藍は焼き払われながらも、これほどまでに残りえたのは、里人の篤い信仰心のたまものといえる。

○あかねさす紫野行き標  
野（しめの）行き野守は見  
ずや君が袖ふる（額田王・  
ぬかたおおきみ）  
○紫のにほへる妹（いも）  
我恋ひめやも（大海人皇子・  
おおあまのみこ）  
大津京遷都後に蒲生野を  
訪れた際の有名な万葉の相  
聞（そうもん）歌である。

（額田王歌精頌）

# 近江の湖国をゆく

## 四行漢字詩



毎日が作りたて!! ひと味ちがう、うなぎです

〒144-0051  
大田区西蒲田7-68-1グランデュオ西館B1(旧サンカマタ)  
TEL 03-5713-6153

○あかねさす紫野行き標  
野（しめの）行き野守は見  
ずや君が袖ふる（額田王・  
ぬかたおおきみ）  
○紫のにほへる妹（いも）  
我恋ひめやも（大海人皇子・  
おおあまのみこ）  
大津京遷都後に蒲生野を  
訪れた際の有名な万葉の相  
聞（そうもん）歌である。

（額田王歌精頌）

**【説】**  
湖北の高月の里からは遙かに比叡の山並みが望まれ、淡海と呼ばれた琵琶湖の静かな水面は鏡のように光を照り返している。

**【説】**  
この辺り一帯の里には多くの寺々、そして多くの觀世音菩薩像が刻まれ安置されていました。

もともとこの地は百濟系といわれる秦氏の渡来地の一つで古代の製鉄遺跡をはじめ、延喜式に記載されている古社などが点在し、平安時代には天台宗の延暦寺の勢力下として広大な地域に多数の伽藍堂塔が形成された。北国街道の喉元にあたる交通の要衝でもあり、背景には古代からの白山信仰とも関連があるよう

ほ 安心をお届けします  
ほ 充実した人生をお届けします  
ほ お気軽にご相談下さい

保険 ほ  
バンク

〒144-0052  
東京都大田区蒲田4-47-5 第2石井ビル5F  
有限会社 保険バンク 代表 八木克昌  
TEL. 03-5713-0033 FAX. 03-5713-0222  
e-mail:yagi@insbank.co.jp

もともとこの地は百濟系といわれる秦氏の渡来地の一つで古代の製鉄遺跡をはじめ、延喜式に記載されている古社などが点在し、平安時代には天台宗の延暦寺の勢力下として広大な地域に多数の伽藍堂塔が形成された。北国街道の喉元にあたる交通の要衝でもあり、背景には古代からの白山信仰とも関連があるよう

に思える。

日本通運株式会社 首都圏旅行支店  
tel: 03-6251-6351 fax: 03-6251-6361  
e-mail: tea-masuda@nittsu.co.jp  
〒105-8322 東京都港区東新橋1丁目9番地3号 日通本社ビル18階

太崎会計事務所

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-4-15 東邦本社ビル5F  
TEL. 03-5480-4561 FAX. 03-5480-4561  
HP http://www.osakikaikei.co.jp/  
代 表 大崎 正博  
業務内容 会社設立 月次監査 会社決算申告個人申告  
事業計画 企業・組織再編

**【説】**  
この辺り一帯の里には多くの寺々、そして多くの觀世音菩薩像が刻まれ安置されていました。

もともとこの地は百濟系といわれる秦氏の渡来地の一つで古代の製鉄遺跡をはじめ、延喜式に記載されている古社などが点在し、平安時代には天台宗の延暦寺の勢力下として広大な地域に多数の伽藍堂塔が形成された。北国街道の喉元にあたる交通の要衝でもあり、背景には古代からの白山信仰とも関連があるよう

に思える。

創業昭和3年鳥専門の弁当屋

浦 田

東口店 大田区蒲田 5-16-1  
TEL 03-3738-5736  
営業時間 7時～20時(売り切れ閉店)

**【説】**  
この辺り一帯の里には多くの寺々、そして多くの觀世音菩薩像が刻まれ安置されていました。

もともとこの地は百濟系といわれる秦氏の渡来地の一つで古代の製鉄遺跡をはじめ、延喜式に記載されている古社などが点在し、平安時代には天台宗の延暦寺の勢力下として広大な地域に多数の伽藍堂塔が形成された。北国街道の喉元にあたる交通の要衝でもあり、背景には古代からの白山信仰とも関連があるよう

に思える。

**【説】**  
この辺り一帯の里には多くの寺々、そして多くの觀世音菩薩像が刻まれ安置されていました。